

## 第5章 / 広島の魅力の発信

### 1 SNSによる情報発信

令和4年8月19日（金）に県民会議のTwitter（現X）及びFacebookを開設し、県民、事業者、国内外からの来訪者等へ広く県民会議の活動状況やG7サミットに関する情報提供を行った。

また、関係機関の投稿を共有（シェア・リツイート）することで、タイムリーな情報発信を行った。

**【実績】**（令和5年5月31日（水）時点）

Twitter フォロワー数：2,749人 投稿数：405件

Facebook フォロワー数：949人 投稿数：405件

**【主な掲載内容】**

サミット情報（サミットとは、サミットに関する豆知識 等）

県民会議の取組（各種イベント、県民会議主催事業 等）

応援事業、協賛、寄附の募集及び紹介

規制情報（サミット開催中及びその前後に予想される影響の一覧 等）

カウントダウン投稿（令和4年10月31日（月）（サミット開催200日前）から、令和5年5月19日（金）まで）



Twitter

## 2 ホームページによる情報発信

令和4年9月14日（水）に県民会議のホームページを開設し、県民、事業者、国内外からの来訪者等へ広く県民会議の活動状況やG7サミットに関する情報提供を行った。

また、広島開催の意義、県民会議の概要、広島来訪者向けの情報などは、多言語（サミット参加国の言語である英・仏・独・伊）により掲載した。

### 【実績】

総PV（アクセス）数：1,238,257PV（令和4年9月14日（水）から令和5年5月31日（水））  
（日本語版及び外国語版）

（内訳）

日本語：1,197,810PV（令和4年9月14日（水）～令和5年5月31日（水））

英語：32,519PV（令和4年12月12日（月）～令和5年5月31日（水））

フランス語：4,518PV（令和4年12月16日（金）～令和5年5月31日（水））

ドイツ語：2,414PV（令和4年12月16日（金）～令和5年5月31日（水））

イタリア語：996PV（令和4年12月16日（金）～令和5年5月31日（水））

なお、1日当たりの最多PV数は75,832PV（令和5年5月17日（水）（日本語））であった。

### 【主な掲載内容】

開催にあたって（会長・副会長挨拶、広島開催の意義等）

サミット情報（サミットの概要、G7広島サミット公式ホームページのリンク等）

県民会議について（県民会議の概要、県民会議の取組内容等）

広島来訪者向け情報（広島の基本情報、観光・平和に関する情報、県内の公共交通機関などの役立つ情報等）

応援・協賛・寄附の募集、紹介

規制情報（開催期間及びその前後に予想される様々な影響）

報道関係者向け情報（宿泊予約センター）



サミット開催前のHP（日本語版）



サミット終了後のHP（日本語版）

### 3 県民会議ロゴの制作

県民会議の活動をPRし、行政のみならず企業・県民が一体となって地元からサミット開催の機運醸成を図ることを目的に、県民会議ロゴを制作した。

#### (1) 制作

サミット開催地である広島市において、美術・デザインの専門コースを有している唯一の公立高校である広島市立基町高等学校創造表現コースの生徒に依頼し、図案デザインとキャッチフレーズの制作に参画してもらうことで、若い世代にサミットへの関心を持ってもらうとともに、開催機運の醸成を図った。

なお、県民会議の構成員等が様々な場面でロゴを使用することを想定し、ロゴ発表の段階で商標登録申請を行い、令和5年2月6日（月）に商標登録された。

また、適正な使用のため要領を定め、ロゴを使用する際には、県民会議が認める団体を除いては「広島サミット県民会議ロゴ使用申請書」の提出を求め、使用目的等の確認を行った上で申請者に活用いただいた。(243ページ資料8参照)

#### (2) 活用

ロゴは、ポスター、リーフレットなど県民会議事務局や県民会議構成団体が制作する広報媒体等への掲載に活用されたほか、県民会議構成団体以外の企業・団体からも利用申請を受け付け、サミットを応援する取組などで企業が独自に製造する商品へ掲載されるなど、幅広い活用があり、地元の開催機運を高めることができた。

#### 【広島サミット県民会議ロゴ】



#### 【キャッチフレーズ】

「ここから世界へ、ここから未来へ」

広島から世界へ向けた平和のメッセージ発信と、未来を担う若者がサミットの成果をつないでいくという意味を込めた。

#### 【制作者による図案の説明】

平和の象徴である「鳩」を配置し、平和への願いを込めた。明るい未来に向かって鳩が羽ばたいていく様子を鮮やかな配色の折り紙を使って表現した。広島から世界に向けて人々の願いが繋がっていくよう、想いを込めてデザインした。

#### 【発表】

令和4年10月13日（木） デザインの制作者の皆さんが松井広島市長を訪問し、ロゴを発表



発表時の様子

### 【使用申請件数】

432件（令和5年5月31日（水）時点）

※使用可能期間：令和4年10月13日（木）～令和5年12月31日（日）

（使用の受付は令和5年6月30日（金）まで）

※県民会議構成団体及び同団体に所属している企業や団体が使用する場合等は申請不要とした。

### （3）G7広島サミットロゴマークとの併用

政府が令和4年12月21日（水）にG7広島サミットの公式ロゴマークを発表し、その使用が開始されて以降は、県民会議事業においては県民会議ロゴと併用した。また、湯崎知事、松井広島市長もG7広島サミットロゴマーク選考会の審査委員を務めた。

### 【G7広島サミットロゴマーク】



### 【制作】

草野敬一さん

### 【制作者による作品の説明】

「日本伝統の折り紙をモチーフに、G7を意味した7色で構成し、Gの形のクリップで束ねています。G7各国の伝統や特色および様々な地球規模課題についてのそれぞれの意見や主張を色分けで表し、日本を超えて世界各地に広まっている「折り紙」を通しての世界平和・結束・一体感をイメージしています。」（出典：首相官邸ホームページ）

## 4 ポスター等の掲示物の制作

G7広島サミットの開催を県民等に周知するとともに、歓迎機運の醸成を図るため、サミットをPRするポスターを作成し、令和4年10月以降に県民会議構成団体、県内学校及びサミットを応援する企業・団体等に配布するとともに、リーフレット等を作成し、PRイベント等で配布した。

また、サミットについて説明するパネルを作成し、県内イベントや商業施設でのPR活動で掲出したほか、市町等が実施するサミット企画展などで活用してもらうため、貸し出しを行った。

### 【内容】

「開催周知」「理解促進・機運醸成」「交通総量抑制等に関する注意喚起・協力依頼」「規制情報発信」の内容で期間を区切り、それぞれの期間に応じたポスター及びリーフレット等を作成した。

「開催周知」：第1弾ポスター、第1弾チラシ

「理解促進・機運醸成」：第2弾ポスター、リーフレット

「交通総量抑制等に関する注意喚起・協力依頼」：第3弾ポスター、第2弾チラシ

「規制情報発信」：第4弾ポスター

### 【作成枚数】

第1弾ポスター：13,900枚

第2弾ポスター：17,900枚

第3弾ポスター：12,400枚

第4弾ポスター：1,500枚

第1弾チラシ：123,000枚

第2弾チラシ：15,000枚

リーフレット：25,000枚

【開催周知】

第1弾ポスター



第1弾チラシ



【理解促進・機運醸成】

第2弾ポスター



リーフレット



【交通総量抑制等に関する注意喚起・協力依頼】

第3弾ポスター



第2弾チラシ





### G7サミットってなあに?

フランス、アメリカ、イギリス、ドイツ、日本、イタリア、カナダの加盟国（首脳）のグループを「G7サミット」と呼ぶ。世界の主要国の首脳が集まるのに加えて、EU（欧州連合）も参加する。

第1回開催は、参加国と非参加国を合わせた、2023年5月のサミット開催地は、もともと開催国は、これまで開催国で2回、2013年ブラジル、2017年ロシア、2022年インド、2023年日本。

### G7ってこんな国!

日本以外の加盟国は、G7の旗をデザインしたデザインに決まりました。旗は白地に黒い色で、それぞれの特色が表現されています。また、加盟国の特色が表現され、地球規模の課題に対する多国籍の連携を促す意図が込められています。

日本以外の加盟国は、G7の旗をデザインしたデザインに決まりました。旗は白地に黒い色で、それぞれの特色が表現されています。また、加盟国の特色が表現され、地球規模の課題に対する多国籍の連携を促す意図が込められています。

※G7は、1975年フランスの西部の町であるブレストで、先進国7ヶ国（米・英・仏・独・意・日）の首脳が初めて集まり、国際協調の重要性を議論しました。

### G7広島サミットの国のロゴマークと主会場が決定

日本伝統の縁起物「G7」の旗をデザインしたデザインに決まりました。旗は白地に黒い色で、それぞれの特色が表現されています。また、加盟国の特色が表現され、地球規模の課題に対する多国籍の連携を促す意図が込められています。

### G7広島サミットの主会場 プリンズホテルに決定

広島市の中心部に位置する、歴史的な建物である「プリンズホテル」が、G7広島サミットの主会場に決定しました。このホテルは、明治時代の建築家である隈研二氏が設計し、戦後も重要な役割を果たしてきました。

### G7広島サミット公式ホームページが外務省により開設されました

G7広島サミットの公式ホームページが外務省により開設されました。このサイトでは、サミットの最新情報、プログラム、参加者のリストなどを提供しています。

### サミット開催に向けた県民会議の取組

広島市の各自治体は、サミット開催に向けた取組を進めています。各自治体は、サミット開催を機に、地域の魅力を発信し、観光客の増加を促す取組を進めています。

### 若者の参加

サミット開催に向けて、若者の参加を促しています。若者は、サミット開催を機に、地域の魅力を発信し、観光客の増加を促す取組を進めています。

### サミットを一緒に盛り上げよう!

サミット開催に向けて、市民の参加を促しています。市民は、サミット開催を機に、地域の魅力を発信し、観光客の増加を促す取組を進めています。

### G7広島サミットフォーラム

G7広島サミットフォーラムを開催しています。このフォーラムでは、サミット開催に関する情報を提供し、市民の参加を促しています。

### 交通総量抑制対策へのご協力をお願い

G7広島サミット開催に際し、2023年5月18日(木)から22日(月)までの5日間、広島市内の主要道路で交通総量抑制対策を実施します。

この対策により、道路の混雑を抑制し、市民の利便性を確保します。また、サミット開催を機に、地域の魅力を発信し、観光客の増加を促す取組を進めています。

### 皆様へのお願い

広島市内の主要道路で交通総量抑制対策を実施します。この対策により、道路の混雑を抑制し、市民の利便性を確保します。また、サミット開催を機に、地域の魅力を発信し、観光客の増加を促す取組を進めています。

業務用車両の運行調整、マイカー利用の自粛、行先・順番の自覚変更などのご協力をお願いします。

## 5 G7広島サミット P R 動画・おもてなしメイキング動画の制作

### (1) G7広島サミット P R 動画

G7広島サミットの開催意義を県民等に周知するため、サミット P R 動画を制作し、令和4年12月21日(水)～令和5年5月22日(月)の間、デジタルサイネージ（公共機関、交通結節点や商業施設等）、各種 HP や SNS、イベントの出展ブース、セミナーや会議時などで放映した。

また、令和5年5月上旬から、本 P R 動画の最後に交通総量抑制への協力依頼を追加した動画を制作し、デジタルサイネージ等で放映するとともに、TV CM を放送した。

#### 【内容】

不安定な国際・社会情勢において、子供や高校生の不安な様子を示したうえで、広島の人々に息づく平和への願いが、折り鶴に乗って、世界へ羽ばたき、世界中に届くことで、平和な国際情勢につながっていくよう表現した。

音声は日本語とし、様々な放映媒体に対応できるよう、横型及び縦型で、60秒・30秒・15秒の計6種類を制作した。



P R 動画（抜粋）

### 【YouTubeでの視聴回数】

各動画の合計視聴回数：417,569回（令和5年6月9日（金）時点）

### 【放映場所数】

222箇所

## （2）G7広島サミットおもてなしメイキング動画

G7広島サミット開催に向けて、広島を訪れる方へおもてなしの心を伝えるとともに、県民の達成感や歓迎機運の醸成及び広島の魅力発信のため、開催に向けた県民の取組をメイキング映像として収めた動画を制作した。

動画は、デジタルサイネージ、各種HPやSNS、在京大使館等先遣隊歓迎レセプションをはじめとする各種レセプション、IMC内ビジョン等で放映した。

### 【内容】

国内外から広島を訪れる方々を温かくお迎えし、広島の魅力を届けるために心を込めて開催準備に取り組む県民の様子を伝える2種類の動画「広がる・高まる！活動と意識」「思いをつむいで」を作成した。

音声は日本語（英語字幕）とし、2種類のロングムービー及び主要な場面を集約したサイネージムービー（15秒）を制作した。

「広がる・高まる！活動と意識」（約7分）

カウントダウンボードの製作・設置や学生ボランティアの結団等、サミット開催に向けた「オール広島」での取組を記録。



「広がる・高まる！活動と意識」の画像（抜粋）

「思いをつむいで」（約5分）

県民がどのような思いで開催準備や広島の魅力発信に取り組んだのか、インタビューを中心に記録。



「思いをつむいで」の画像（抜粋）

サイネージムービー（15秒）



サイネージムービーの画像（抜粋）

**【YouTubeでの視聴回数】**

各動画の合計視聴回数：1,879回（令和5年6月2日（金）時点）

**（3）サイネージ等を活用した情報発信**

G7広島サミットの開催周知及び歓迎機運の醸成を図るため、広島市内を中心にデジタルサイネージ等を活用し、G7広島サミットPR動画等を放映した。また、令和5年4月下旬から、交通総量抑制への協力依頼の画像を追加したPR動画を放映した。

**ア JR西日本**

放映場所		放映期間
広島駅	新幹線柵外コンコース	令和5年4月3日（月）～5月21日（日）
	北口1階柵外コンコース	令和5年4月13日（木）～5月21日（日）
	自由通路 ※サミットをPRするシートを貼付	令和5年4月24日（月）～5月21日（日）
呉駅		令和5年4月13日（木）～5月21日（日）
宮島口駅		令和5年4月13日（木）～5月21日（日）
西条駅		令和5年5月1日（月）～5月21日（日）



広島駅新幹線柵外コンコース



広島駅自由通路

### イ ショッピングモール

放映場所：県内ショッピングモールの食品売り場レジ上など

放映期間：令和5年4月3日（月）～5月21日（日）

### ウ タクシー

放映場所：後部座席サイネージ（406台）

放映期間：令和5年4月12日（水）～  
5月21日（日）

備考：タクシー用に第1弾及び第3弾  
ポスターを基にした画像を制作  
し放映



タクシー

### エ スクリーン放映

放映場所：広島市内及び近郊の大型映画館（5か所）

放映期間：令和5年4月14日（金）～5月18日（木）

※放映にあわせ、一部劇場ではロビー掲示（動画、ポスター等）を実施



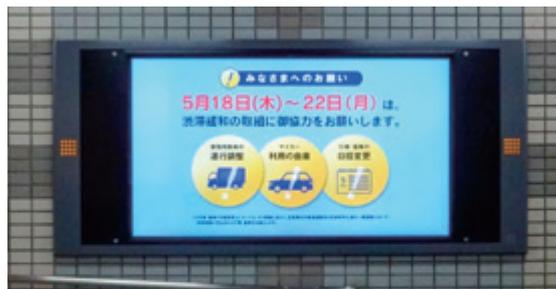
スクリーン放映の様子



ロビー掲示等

**オ アストラムライン**

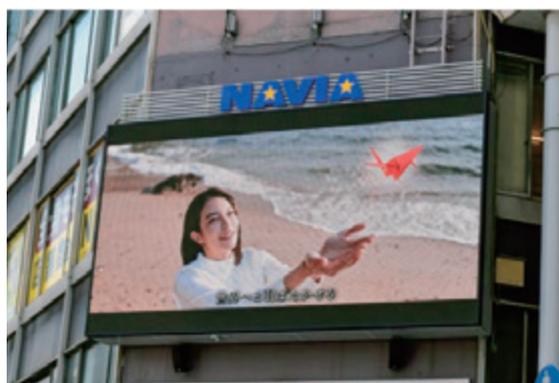
放映場所：本通駅コンコース  
 放映期間：令和5年4月17日（月）～  
 5月21日（日）



本通駅コンコース

**カ 大型ビジョン**

放映場所	放映期間
本通交差点（広島市中区紙屋町）	令和5年4月17日（月）～5月22日（月）
パセーラ前（広島市中区基町）	令和5年4月17日（月）～5月21日（日）
八丁堀交差点（広島市中区鉄砲町）	令和5年4月18日（火）～5月22日（月）
紙屋町西交差点（広島市中区紙屋町）	令和5年4月21日（金）～5月22日（月）



本通交差点



八丁堀交差点

**キ バス停**

放映場所：立町、八丁堀（2か所）、並木通り入口のバス停  
 放映期間：令和5年4月24日（月）～5月21日（日）  
 備考：第1弾及び第3弾ポスターを基にした画像を放映

**ク 広島バスセンター**

放映場所：通路及び待合室  
 放映期間：令和5年4月24日（月）～5月22日（月）

**(4) TV・ラジオCM等を活用した情報発信**

幅広い層に発信し、歓迎機運を高めてもらうとともに、交通総量抑制への協力を求めるため、TV・ラジオCMを放映した。また、G7広島サミット終了後には、無事に閉会を迎えることができたという報告や、交通総量抑制対策等の協力への感謝の意を県民に伝えるため、新聞広告を活用した広報を実施した。

**ア 実施期間**

TV・ラジオCM：令和5年5月8日（月）～21日（日）  
 新聞広告：令和5年5月23日（火） ※交通総量抑制対策終了翌日

**イ 実施媒体**

TVCM：広島テレビ放送、中国放送、広島ホームテレビ、テレビ新広島  
 ラジオCM：広島エフエム、中国放送  
 新聞広告：中国新聞朝刊

**ウ 実績**

TVCM：132本（15秒CM）  
 ラジオCM：84本（20秒CM）  
 新聞広告：発行部数約51万部 最終面テレビ欄の下 全5面段（1面の3分の1） カラー



## G7広島サミットへのご支援とご協力、ありがとうございました



G7広島サミットが5月19日から21日の3日間、無事に開催されました。サミット開催にあたりましては、経済復興に向けた取組や平和記念公園・宮島への立入制限等、多くの皆様にご理解・ご協力をいただき、おかげさまで安全・円滑にサミットを行うという開催地としての責務を果たすことができました。

広島での開催は世界に向けた力強い平和のメッセージの発信となったことに加え、県民・市民の皆様にもオール広島でサミット成功に向けて取り組んでいただいた結果、様々な成果が生まれました。

学生ボランティアやG7広島サミットコミュニティ会議では、世界の国際社会への挑戦を後押しすることができました。県民会議公式ロゴ、カウンタダウンボード、路面電車・バスのラッピングデザイン等の制作では、参加各校の生徒がサミットについて自ら学び、完成に向けて意見を交わし、協力することで団結力や友情を深めることにつながりました。花の歓迎ボードを設置するにあたり、小学生がサミットに関心を持って花を育てていただきました。クリーンアップ運動では、多くの企業・団体等の自主的な清掃活動により、美しい環境で来訪者をお迎えすることができました。

また、広島の魅力をPRについても、WEI等による情報発信や、海外メディアに向けたプレスツアーの実施、国際メディアセンターでのおおてなし等を通じて、先人たちが築き上げてきた広島の実業・自然・食文化などを世界に発信しました。各国首脳に提供された食料や飲み物のPR販売の動きも生じており、既に一部食料等では注文や予約が急増しています。今後、アフターサミットにおけるインバウンドの増加や県内産業の活性化が大いに期待されます。

県民・市民の皆様のご協力によって生まれた成果や、サミット開催を通じて得られた様々な経験を資産とし、さらに活力あふれる広島の実現へとつなげてまいります。

広島サミット県民会議



  
 会長 湯崎 英彦

  
 副会長 松井 一賢

  
 副会長 池田 晃治

  
 様々な場面で活躍していた  
学生ボランティア

  
 G7全国出身の高校生が参加した  
G7広島サミットコミュニティ会議

  
 県内高校生による県民会議公式ロゴ、カウンタダウンボード、路面電車・バスラッピングデザイン制作

  
 小学生が育てた花を活用した  
歓迎ボード

  
 多くの企業・団体の方にも実施  
いただいたクリーンアップ運動

広島サミット県民会議

ホームページ





@kenminkaiji



facebook.com/summitkenminkaiji



掲載内容（新聞広告）

## 6 行政広報紙によるPR

G7広島サミットに関する情報を県民等に広く発信するため、県、広島市、その他県内22市町等の広報紙に記事を掲載した。県、広島市では特集ページを設け、22市町や関係機関においても、県民会議事務局から時機に応じて提供した情報等を基に、記事を掲載した。

### 【内容】

県（「ひろしま県民だより」年4回発行）

令和4年：秋号（10/1）

令和5年：冬号（1/1）（サミット特集号）、春号（4/1）、夏号（7/1）

広島市（「市民と市政」月2回発行 ※四季号は年4回）

令和4年：10/1号、10/15号、11/1号、11/15号、冬号（12/20）（サミット特集号）

令和5年：1/1号、1/15号、2/1号、2/15号、3/1号、3/15号、4/1号、  
4/15号、5/1号、5/15号、6/1号、6/15号

広島市（「りーぶら」（広域都市圏推進課発行））

令和5年：3月号

その他22市町

開催周知（サミット開催、県民会議公式ロゴ完成、応援する取組・協賛募集中）：18市町で掲載（令和4年12月号～令和5年1月号）

理解促進（サミットとは、開催の経緯、開催の意義、サミットの効果とは）：15市町で掲載（令和5年2月号～3月号）

注意喚起（交通総量抑制対策、小型無人機飛行禁止規制）：10市町で掲載（令和5年4月号～5月号）

公益財団法人広島観光コンベンションビューロー（広島市関連団体）

・マンスリーニュース（月1回発行）

令和4年：9月号、10月号、11月号、12月号

令和5年：1月号、2月号、3月号、4月号、5月号、6月号

・機関紙（年4回発行）

令和4年：10月号、1月号

令和5年：4月号、7月号



広島県 ひろしま県民だより 令和5年冬号（1/1発行）

広島市 市民と市政 令和4年冬号（12/20発行）

## 7 プレス用ガイド情報の制作

G7広島サミット開催に当たり、広島に滞在する政府関係者や海外メディア等の方々に、快適に広島に滞在し、広島の魅力を知ってもらうため、県民会議のホームページ上に、滞在に役立つ交通機関等の情報を掲載した。また、当該ページの閲覧につなげるため、外務省作成のメディアハンドブックや県民会議作成の飲食店ガイド等にリンクを掲載した。

### (1) 掲載期間

令和4年12月～

### (2) 掲載内容

- ・広島県の交通機関について（路面電車、路線バス、広島空港リムジンバスの乗り方・運賃・所要時間等）
- ・お役立ち情報（Wi-Fiについて、国内の交通ルール等）
- ・こんなときは（緊急時の連絡先の掲載（警察、救急・消防）、外国人の受入れが可能な医療機関情報、災害時に情報を発信するホームページ、アプリ、SNSの紹介等）
- ・その他（G7広島サミット開催に伴う平和記念公園・宮島への影響、交通機関の運行などについて案内）

## 8 海外メディア等に向けた飲食店ガイドの制作

広島の魅力の発信や、観光消費額の増加、将来的な観光需要の喚起を図るため、G7広島サミットのタイミングで来訪する海外メディア記者や警察官等の国内のサミット関係者に対し、安心して広島ならではの食などを楽しめる広島市の中心市街地における飲食店の情報や観光情報を掲載した2種類のガイドを制作した。

### (1) 英語版

#### ア 対象

海外メディア記者

#### イ 概要

- ・インバウンド情報等を発信する地元英語メディア「Get Hiroshima」を運営するポール・ウォルシュ氏と連携し、インバウンド対応等が可能な店舗やG7各国の料理等を提供する31店舗を紹介したほか、広島滞在中に役立つ観光情報等を掲載
- ・掲載情報については、県民会議ホームページにも掲載
- ・外務省と調整の上、IMC内のクローズドサーキットTVを活用した館内インフォメーションやPR映像の放映、IMCを利用されるメディアのメーリングリストを活用した案内メールの送信（外務省）、メディアハンドブックへの情報掲載などで周知

#### ウ 作成部数

5,000部

**エ 配布期間**

令和5年5月中旬

**オ 配布場所**

- ・ I MC及び広島情報センターのインフォメーションカウンター
- ・ 交通結節点（広島空港、広島駅）に設置したインフォメーションカウンター
- ・ 報道関係者向け宿泊施設15施設及び県民会議構成団体6 宿泊施設

**(2) 日本語版**

**ア 対象**

サミット警備のため来広した全国の警察関係者等

**イ 概要**

広島ならではの食が楽しめる108店舗を紹介したほか、広島再来訪に役立つ観光情報を掲載

**ウ 配布期間**

令和5年4月下旬～5月下旬

**エ 作成部数**

25,000部

**オ 配布方法・場所**

- ・ 警察関係者（約2万人）への記念品に同封
- ・ 広島市内の宿泊施設等で配布



英語版



日本語版

**9 プレスツアーの実施**

**(1) 県民会議主催プレスツアー**

サミットの開催地として世界から広島に注目が集まる機会を活用し、在日の海外メディアを対象としたプレスツアーを3回実施し、海外向けの報道を通して、広島の魅力や平和のメッセージを世界に発信した。海外メディア延べ28社が参加し、少なくとも77件以上の報道実績があった。

実施に当たり、報道機関の参加率を上げるとともに、多くの報道・記事化に繋げるため、記者の

関心が高いと考えられるテーマ・取材先を設定し、現地取材を行った。なお、第3回は外務省と共催で実施した。(325ページ資料15参照)

	日程	テーマ	取材先	参加メディア
第1回	令和5年 2月7日(火)、 8日(水)	世界が認めたものづくりに息づく「伝統」と「革新」、「平和への想い」(産業や環境)	株式会社スピングルカンパニー(府中市)、恋しき〈昼食のみ〉(府中市)、カイハラ株式会社(福山市)、株式会社キャストム(福山市)、カーボンリサイクル実証研究拠点(大崎上島町)、株式会社今田酒造本店(東広島市)、株式会社サタケ(東広島市)	10社(1社1人参加) 8か国・地域(台湾、トルコ、韓国、ドイツ、フランス、ベトナム、香港、中国)
第2回	令和5年 3月24日(金)、 25日(土)	This is HIROSHIMA. 世界を惹きつける「オンリーワン」「広島発祥」(食や伝統、文化)	株式会社小西養鯉場(広島市)、オコスタ(広島市)、公益財団法人上田流和風堂(広島市)、せとうち7サミット(広島市)、広島神楽(広島市の会場で上演)、株式会社ファームスズキ(大崎上島町)、株式会社岩崎農園(大崎上島町)	7社(1社1人参加) 6か国・地域(香港、フランス、台湾、英国、中国など)
第3回	令和5年 4月25日(火)、 26日(水)	広島で受け継がれる平和への想い、復興から未来へ(平和)	おりづるタワー(広島市)、元祖へんくつや総本店(広島市)、被爆者インタビュー(広島市)、広島市長インタビュー(広島市)、広島平和記念資料館(広島市)、広島電鉄株式会社(広島市)、株式会社マルニ木工(廿日市市)、崇徳高等学校 新聞部(広島市)、広島市立基町高等学校 創造表現コース(広島市)	11社(1社1人参加) 8か国・地域(スペイン、ベトナム、トルコ、中国、台湾、香港、フランスなど)



株式会社サタケでの取材  
(第1回プレスツアー)



オコスタでの取材  
(第2回プレスツアー)



被爆者インタビュー  
(第3回プレスツアー)

## (2) 外務省主催プレスツアー

海外メディアを招いたプレスツアーを外務省が主催した。その広島取材の機会を捉え、広島の魅力や平和のメッセージを世界に発信した。

	日程	取材先	参加メディア
ペン記者	令和5年 5月17日(水)、 18日(木)	大聖院(廿日市市)、厳島神社(廿日市市)、広島平和記念資料館(広島市)、ユースピースボランティアによる平和記念公園案内(広島市)、オコスタ(広島市)、被爆体験講話(広島市)	10か国10人(スリランカ、モンゴル、クック諸島、アルゼンチン、メキシコ、カザフスタン、サウジアラビア、トルコ、フィリピン、南アフリカ)
TV局	令和5年 5月18日(木)	広島平和記念資料館(広島市)、ユースピースボランティアによる平和記念公園案内(広島市)、被爆体験講話(広島市)	アラブ首長国連邦(1社2人)
	令和5年 5月19日(金) ~21日(日)	神楽門前湯治村(安芸高田市)、神楽鑑賞(北広島町)、Wood Egg(広島市)、被爆遺構を巡るサイクリングツアーガイドインタビュー(広島市)、被爆体験講話(広島市)	マレーシア(1社3人)
	令和5年 5月21日(日)、 22日(月)	宮島(廿日市市)、小学校での平和教育(広島市)、広島平和記念資料館(広島市)、被爆体験講話(広島市)	ケニア(1社3人)



大聖院での取材



小学校での平和教育の取材

## (3) その他団体主催プレスツアー

### ア 一般社団法人広島県観光連盟

G7広島サミットの開催地として世界から広島に注目が集まる機会を活用し、G7各国の観光関係等のメディア(10社)を招聘してプレスツアーを実施し、広島魅力を世界に発信した。

令和5年3月21日(火・祝)~24日(金)の3泊4日で実施し、全メディア共通の行程と、メディアごとの個別行程で実施した。個別行程については、各メディアの希望するテーマに基づき取材先を設定し、WEB記事、新聞、雑誌等を中心に、15件以上の掲載があった。

参加メディア	主なテーマ	主な取材先
Traveler (米国)	酒・伝統文化	竹原町並み保存地区(竹原市)、耕三寺(尾道市)等
COOL HUNTING (米国)	建築・アート	神勝寺(福山市)、広島市現代美術館(広島市)等
Daily Hive (カナダ)	島、アドベンチャー	SUP(江田島市)、ハイキング(広島市)等
VOGUE (英国)	リラックス、デトックス	ベラビスタ・スパ(尾道市)、三次もののけミュージアム(三次市)等
CNN Travel (英国)	地域密着・海・禅	鞆の浦(福山市)、御手洗町並み保存地区(呉市、SEA SPICA(シースピカ)利用)等
VOGUE (フランス)	ラグジュアリー	瀬戸内醸造所(三原市)、尾道散策・千光寺頂上展望台(尾道市)等
GQ (フランス)	ラグジュアリー、禅	瀬戸内海クルージング、マツダミュージアム(府中町)等
Tagesspiegel (ドイツ)	街並み	福山城・鞆の浦(福山市)、平和記念公園(広島市)等
JAPAN DIGEST (ドイツ)	歴史・文化・酒	西条の酒蔵(東広島市)、生口島レモン谷(尾道市)等
Vanityfair (イタリア)	伝統文化	恋しき・上下町並み(府中市)、公益財団法人上田流和風堂(広島市)等

## イ 広島県

G7広島サミットの開催地として国内からの注目が集まる機会を活用し、国内の首都圏雑誌、ウェブなどのメディアを対象としたプレスツアーを、令和4年10月～令和5年7月の間に計7回実施した。県外からの来広意向の上昇や食の魅力の発信を目的にしており、各回でテーマを設けたうえで、県内の様々な観光スポットや食を紹介した。令和5年8月18日(金)時点で、ウェブ媒体を中心に、累計45媒体で、計77件(転載除く)の掲載があった。

実施時期	テーマ	主な取材先
令和4年10月	ひろしま エナジー旅	比婆牛飲食店(広島市)、ピースツアー(広島市)、トランルージュ(広島市)、大久野島(竹原市)、瀬戸内さかな飲食店(三原市)、船での瀬戸内海周遊(SEA SPICA(シースピカ))等
令和5年2月	いろいろ絶品コース	比婆牛飲食店(庄原市)、西条酒蔵巡り(東広島市)、牡蠣飲食店(廿日市市)等
令和5年2月	大人の広島旅	尾道本通り商店街(尾道市)、牡蠣の漁場見学(廿日市市)、観光列車(etSETOra)等
令和5年3月	いろいろ体験コース	鞆の浦(福山市)、船釣り(福山市)、平田観光農園(三次市)、帝釈峡(庄原市、神石高原町)等
令和5年4月	いろいろウェルネスコース	大和ミュージアム(呉市)、れんがどおり(呉市)、SUPヨガ体験(江田島市)、せらワイナリー(世羅町)等
令和5年6月	贅沢大人旅体験ツアー	神楽門前湯治村(安芸高田市)、三段峡(安芸太田町)、井仁の棚田(安芸太田町)、道の駅豊平どんぐり村 そば打ち体験(北広島町)、ハーブガーデン(北広島町)等
令和5年7月	芸術とモノづくりに触れる体験ツアー	下瀬美術館(大竹市)、おおたけ手すき和紙の里(大竹市)、瀬戸内さかな飲食店(大竹市)、旧千葉家住宅(海田町)、筆の里工房(熊野町)、ベイサイドビーチ坂(坂町)等

## 10 在外日本大使館における天皇誕生日祝賀レセプション等でのPR

G7広島サミットの開催に向け、G7各国の人々にG7広島サミット開催PRを行うとともに、広島の魅力を発信し広島の知名度向上を図るため、各国の政府関係者、国会議員、報道関係者等が日本の在外公館に集う天皇誕生日祝賀レセプション等の機会を捉え、G7広島サミットのPR動画の放映や県産品の試食・試飲・展示等を行った。

### (1) 日程等

#### ア 天皇誕生日祝賀レセプション

日程	主催者
令和5年2月7日(火)	在英国日本国大使館
令和5年2月13日(月)	在カナダ日本国大使館
令和5年2月14日(火)	在米国日本国大使館
令和5年2月28日(火)	在ドイツ日本国大使館
令和5年3月23日(木)	在イタリア日本国大使館
令和5年3月29日(水)	在フランス日本国大使館

#### イ 全米桜祭りレセプション

日程	主催者
令和5年4月11日(火)	在米国日本国大使館

### (2) 出展内容

- ・広島の特産品の提供（広島県産品推薦リストに掲載されている広島の地酒、広島県産ノンアルコール飲料、焼き菓子等）
- ・サミットPR動画、おもてなしメイキング動画、広島の魅力発信動画の上映
- ・観光案内リーフレット配布 等

## 11 公益財団法人フォーリン・プレスセンター等を活用した魅力発信

G7サミットの開催地として世界から広島に注目が集まる機会に、公益財団法人フォーリン・プレスセンター（以下「フォーリン・プレスセンター」という。）が提供するサービスを活用し、在日の海外メディアに対して取材機会を提供し、各媒体での報道意欲の喚起を図った。また、英字新聞を活用し、サミットで広島を訪れる報道関係者等に対し、広島魅力を広く発信した。

### (1) フォーリン・プレスセンター

海外メディア記者、在日外国大使館等を対象に、フォーリン・プレスセンターのサービスを活用し、G7広島サミットジュニア会議の開催案内や動画などの情報を発信した。

【発信内容・発信日】

- ・ G7 広島サミットジュニア会議の開催案内  
E-mail 配信：令和5年3月17日（金）  
ホームページ掲載：令和5年3月20日（月）
- ・ G7 広島サミットおもてなしメイキング動画及び海外プロモーション動画（一般社団法人広島県観光連盟制作）の紹介  
E-mail 配信：令和5年5月10日（水）  
ホームページ掲載：令和5年5月10日（水）

（2）英字新聞（ジャパントイムズ）

各国駐日大使館及び在外大使館職員、各国政府関係者、国内外の一般読者、国内外の報道関係者等を対象に、英字新聞（ジャパントイムズ）を活用し、広島の魅力等を発信した。

【取組内容】

- ・ ジャパントイムズサミット特集号への記事広告掲載  
掲載日：令和5年5月18日（木）  
その他：ホームページ掲載、SNS 発信を実施



ジャパントイムズ サミット特集号  
令和5年5月18日掲載

## 12 サミットに合わせて来訪した警察関係者への魅力発信

サミットに合わせて来訪した全国の警察関係者へ、感謝の気持ちを表するとともに、広島の魅力伝え、観光等による再来訪につなげるため、県産品を活用した記念品を配付した。

### 【記念品の内容】

ノベルティ（折り鶴再生紙を使用した折り紙及び被爆樹木がデザインされたポストカード）とメッセージカードをセットにした記念品を作成した。また、広島の魅力を発信するため、メッセージカードに観光情報サイトの2次元コードを記載するとともに、飲食店ガイドを同封した。

（配付物）

- ・ひろしま折り紙（折り鶴再生紙使用）
- ・被爆樹木ポストカード
- ・メッセージカード（折り鶴再生紙使用）
- ・飲食店ガイド
- ・記念品用ケース（折り鶴再生紙使用）

### 【配付個数】

22,550個



記念品

## 13 国際メディアセンターにおける広島の情報発信

G7広島サミットに訪れる報道関係者等を通じて広島が多様な魅力や平和への取組を国内外に広く発信し、認知度向上を図るため、国が総合体育館等に設置したIMCにおいて、広島情報センターを設置し、広島の魅力の発信、県内23市町のPRや平和に係る展示等を実施した。（329ページ資料16参照）

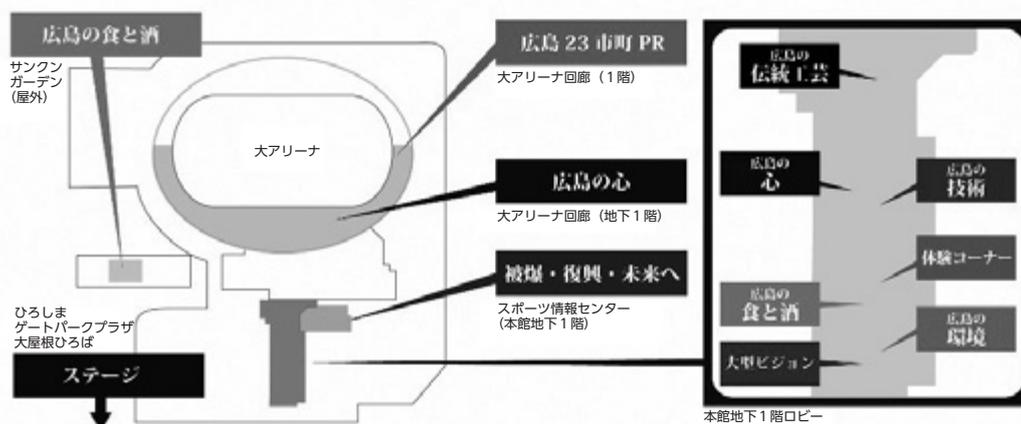
また、G7広島サミット開会の1週間前には、IMC開所式を実施した。

### （1）広島情報センター

#### ア 設置期間

令和5年5月18日（木）10時00分～5月22日（月）12時00分（18日及び22日は、実演等は行わず展示のみ）

## イ 場所



メイン会場：本館地下1階ロビー

平和関連ブース：スポーツ情報センター（本館地下1階）

サンクンガーデン：屋外

プレゼンテーションコーナー：大アリーナエントランス（地下1階）

ステージ：ひろしまゲートパークプラザ大屋根ひろば

その他：大アリーナ回廊（1階、地下1階）

※全体で約1,100㎡

## ウ コンセプト

広島で生きる人々が、「過去から引き継いだモノ・技術を環境や自然を守りながら未来につなぐ姿、故郷を大切に思う心、平和を希求する心、被爆から復興する原動力となった不屈の精神を体現する現在の広島の姿、広島歴史、人々の想い」を世界へ発信する。

### 【展示カテゴリ及びコンテンツ数】

展示カテゴリ	コンテンツ数	主なコンテンツ
広島伝統工芸	17	国指定伝統的工芸品、県指定伝統的工芸品など
広島心	10	錦鯉、広島盆栽、漆箔木など
広島技術	9	3D空中ディスプレイ、超微細福山城など
広島環境	3	海洋プラごみゼロに向けた取組など
広島食と酒	25	広島酒、和牛、牡蠣、柑橘など
被爆・復興・未来へ	46	被爆資料など
その他	45	プロジェクションマッピング、体験コーナー、ステージ、23市町PRブース、政府広報との連携展示など

## エ 内容

### (ア) メイン会場

#### ① 展示構成

「広島伝統工芸」、「広島心」、「広島技術」、「広島環境」、「広島食と酒」の5つのテーマでエリアを分類し、実物展示と大型ディスプレイやデジタルサイネージを活用した動画放映を実施した。



メイン会場正面

#### ② 展示内容

「広島伝統工芸」では、国指定の伝統工芸品である5品（熊野筆、広島仏壇、宮島細工、福山琴、川尻筆）に加え、一国斎高盛絵など県指定伝統工芸品のほか、広島漆芸、和紙鯉のぼりなど広島に伝わる伝統工芸品を展示した。

「広島心」では、色鮮やかで美しい錦鯉や、広島盆栽の展示のほか、子供たちによる折り鶴アートなど、広島ならではのおもてなしの心をあらわす作品を展示した。

「広島技術」では、広島県内の企業が世界に誇る3D等のデジタル技術や、デニムやドローン、精密加工といったモノづくり技術を中心とした選りすぐりの技術を実物展示や動画で紹介した。また、ひろしまゲートパークプラザで同時開催していた県内企業の戦後復興から未来への取組を展示する「Pride of Hiroshima展」をパネルで紹介した。

「広島環境」では、瀬戸内海に新たに流出する海洋プラスチックをゼロを目指す官民連携プラットフォーム「GREEN SEA瀬戸内ひろしま・プラットフォーム（GSHIP）」とそれに参画する事業者による取組、カーボンリサイクル関連の取組などを紹介した。また、試飲試食コーナー等で使用する紙コップ・皿・カトラリーなどは、GSHIP参加企業から提供された海洋生分解性プラスチックや紙等の環境に配慮したものを使用した。

「広島食と酒」では、試飲試食カウンターを設置し、県内各地の企業や団体から提供等されたおむすびや菓子、乳製品、はちみつ、清涼飲料、県産の酒類などに加え、広島県農林水産局がサミットを契機として実施している「おいしい！広島プロジェクト」の事業者も参加し、県産食材を活用して磨き上げた食を披露するため、ハンバーガー、菓子、カクテルなどの試食・試飲を実施した。アルコール飲料の提供が可能となる夜間には、日本酒、ワイン、地ビール、そのほかウイスキーや酎などの試飲を実施した。

また、カウンター近くには、多種多様な広島の日本酒、ワインや地ビール、環境に配慮して作られた農産物、生産者がこだわりを持って生産した「チア！ひろしま（広島県産応援登録制度）」の商品の展示や、デジタルサイネージによる紹介を行うとともに、鷹をモチーフにした工芸菓子などを展示した。

広島食と酒コーナーに隣接したスペースでは、大型ディスプレイで、県内23市町の魅力発信の取組として観光PR動画等を放映するとともに、酒樽を使ったプロジェクションマッピングで広島の魅力を表現した。



広島伝統工芸



広島心



広島技術



広島環境



広島食と酒



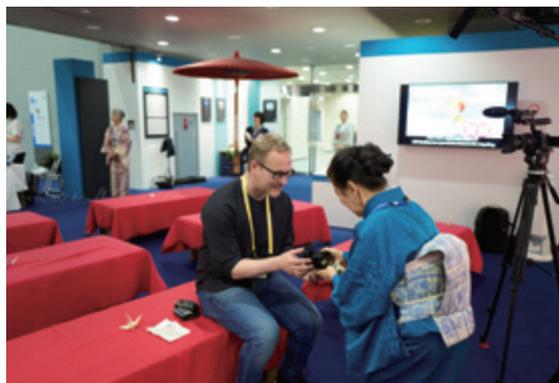
試飲・試食



酒樽プロジェクションマッピング

### ③ 体験コーナー

メイン会場に設けた体験コーナーでは、上田宗箇流和風会によるお茶の提供をはじめ、神楽衣装の着用体験、写真撮影など国内外の記者と出展者による交流の場を提供した。



お茶の提供



神楽衣装の着用体験

(イ) 平和関連ブース

スポーツ情報センター（本館地下1階）において、国内外の報道関係者に、被爆の実相への理解を深め、核兵器の非人道性を深く心に刻んでもらうとともに、広島復興の歴史や未来へ向けた平和に関する取組なども周知し、核兵器のない平和な世界を願う「ヒロシマの心」を広く国内外に発信してもらうため、被爆の実相を伝える展示等を行った。

(ウ) サンクンガーデン

屋外に設けられた試食スペースにおいて、広島の特産である、お好み焼、広島和牛、豚、牡蠣を提供し魅力発信を行った。

お好み焼は、お好み焼屋台を設け、事業者による実演・試食を行った。提供に当たっては、ベジタリアン対応のお好み焼を提供するなど来場者への配慮も行った。

また、環境に配慮した水素調理器を活用して、焼きたての広島和牛（比婆牛・神石牛・広島牛）、ブランド豚「瀬戸のもち豚」、殻付き牡蠣を提供した。



お好み焼試食



広島和牛（比婆牛・神石牛・広島牛）試食



瀬戸のもち豚試食



殻付き牡蠣試食

(エ) プレゼンテーションコーナー

大アリーナエントランス（地下1階）に設けられたプレゼンテーションコーナーにおいて、瀬戸内さかなの魅力、和菓子技能「練切」と茶、広島血統和牛「比婆牛」の魅力、広島米を使用した日本酒・広島のワインや地ビール、広島レモンと広島県で開発した新品種の柑橘「瑞季（みずき）」、広島の牡蠣の6つのコンテンツを提供し魅力発信を行った。



瀬戸内さかなの魅力



和菓子技能「練切」と茶



広島血統和牛「比婆牛」の魅力



日本酒のPRにおける鏡開き



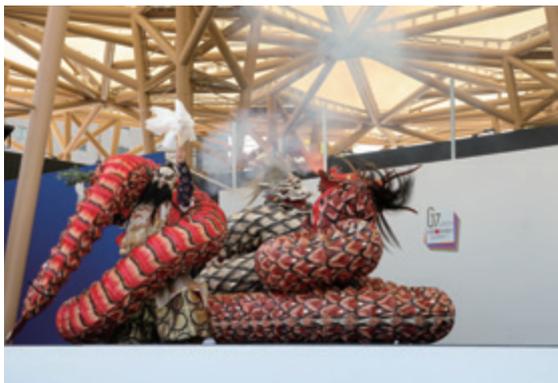
広島レモンと広島県で開発した  
新品種「瑞季（みずき）」



広島の牡蠣

(オ) ステージ

IMCに隣接するひろしまゲートパークプラザ大屋根ひろばに設けられたステージでは、広島神楽や書道（大書）など、県内の中高生による広島のPRを行うとともに、県内市町による観光PRを実施した。



神楽実演「八岐大蛇」



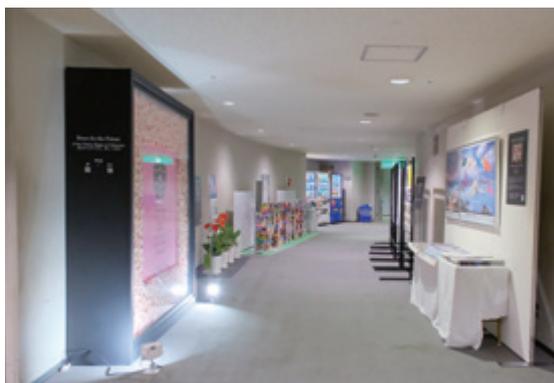
書道パフォーマンス「大書」

(カ) その他スペース

大アリーナ回廊（1階）では、県内23市町それぞれのPRブースを設置し、各市町がオリジナリティあふれる展示を行った。大アリーナ回廊（地下1階）においても、広島の心や平和をテーマとした大型のモニュメントなどを設置した。



23市町PRブース



大アリーナ回廊（地下1階）

(キ) 政府広報展示との連携

政府広報展示が実施されていた武道場においても、外務省と連携し、広島企業による次世代の技術の展示等を実施した。

オ 来場者数

延べ50,327人（うち外国人4,967人）

カ その他

IMC内での比婆牛、広島和牛、日本酒、牡蠣、瀬戸内の魚、レモンなどについてのインタビューや県産品PR等をまとめたダイジェスト動画を制作した。



展示の様子

## (2) IMC開所式

### ア 日程

令和5年5月13日（土）16時45分～17時20分

### イ 場所

IMC（総合体育館）

### ウ 実施主体

外務省及び県民会議の共催

### エ 内容

総合体育館1階大アリーナエントランスで行われた開所式では、岸田総理、県民会議会長の湯崎知事による挨拶、学生ボランティアの挨拶及び総理からの激励、テープカットセレモニー、参加者記念撮影が行われた。

引き続き、開所式出席者はIMC内の政府広報展示スペースや広島情報センター等を視察した。

#### 【次第】

- ・開会の辞及び臨席者紹介
- ・政府代表挨拶  
岸田内閣総理大臣
- ・県民会議会長挨拶  
湯崎広島県知事
- ・学生ボランティアの挨拶及び総理からの激励  
岸田内閣総理大臣、学生ボランティア3人
- ・テープカットセレモニー  
岸田文雄内閣総理大臣、斉藤鉄夫国土交通大臣、湯崎英彦広島県知事、松井一實広島市長、池田晃治広島県商工会議所連合会会頭、中本隆志広島県議会議長、母谷龍典広島市議会議長
- ・参加者記念撮影
- ・IMC視察

### オ 参加者

岸田文雄内閣総理大臣、斉藤鉄夫国土交通大臣、湯崎英彦広島県知事、松井一實広島市長、池田晃治広島県商工会議所連合会会頭、中本隆志広島県議会議長、母谷龍典広島市議会議長、平口洋衆議院議員、新谷正義衆議院議員、畦元将吾衆議院議員、宮口治子参議院議員、石橋林太郎衆議院議員、平林晃衆議院議員、日下正喜衆議院議員、三上えり参議院議員、学生ボランティア3人ほか



テープカットセレモニー



学生ボランティアの挨拶及び総理からの激励

出典：首相官邸ホームページ